

再生可能エネルギーの 産業化と東北復興

太陽光先進地域から何を学べるのか

2012年7月から固定価格買い取り制度が日本でも導入され、再生可能エネルギーを導入する機運は急速に高まっています。再生可能エネルギーの今後の普及を、地域産業の活性化と雇用創造につなげるためにはどのような道筋が考えられ、またどのような課題があるのでしょうか。本シンポジウムでは普及が先行している太陽光発電をとりあげ、九州や関西等の太陽光先進地域で既に事業を展開している企業の先行経験から、東北地域が何を学べるのかを考えます。

開催日時

2013年 **2月6日** 水
13:00—17:20

場所

東北大学片平キャンパス
片平さくらホール

仙台市青葉区片平2丁目1-1

公共交通機関をご利用ください

仙台市営バス

仙台駅前11番のりばより
霊屋橋・動物公園経由緑ヶ丘三丁目行
乗車→東北大正門前バス停下車(約10分、180円)
仙台駅前12番のりばより
霊屋橋・動物公園・西の平経由 長町南駅・長町(営)行
東北大正門前バス停下車(約10分、180円)

タクシー

仙台駅西口から約10分

入場
無料



再生可能エネルギーの 産業化と東北復興

—太陽光先進地域から何を学ぶのか—

プログラム

開会の挨拶

13:00～13:05

東北大学大学院経済学研究科長 大滝 精一

特別講演

13:05～13:40

「再生可能エネルギーの導入状況と地域活性化」

経済産業省東北経済産業局 資源エネルギー環境部 エネルギー課長 柏 芳郎氏

基調講演

13:40～14:20

「太陽光発電産業の現状と課題 ～新規参入への道筋～」

立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋イノベーション・マネジメント・センター長 中田 行彦氏

事例紹介

14:30～16:00

14:30～15:00

「電線事業から太陽電池部品事業への参入 ～配線ユニットを事例として～」

行田電線株式会社 取締役 PV事業本部統括本部長 木村 幹雄氏

15:00～15:30

「中小企業における新規ビジネス創出の事例紹介 ～半導体から太陽電池へ～」

株式会社デンケン 常務取締役 山野 健治氏

15:30～16:00

「太陽光発電ビジネスの現状と今後の展開について ～芝浦グループの太陽電池付賃貸マンション、 メガソーラーへの進出事例～」

芝浦グループホールディングス株式会社 代表取締役会長兼CEO 新地 哲己氏

パネル討論 および フロアとの質疑応答

16:10～17:20

「太陽光先進地域の経験から何を学ぶのか」

モデレーター：柴田友厚(東北大学大学院経済学研究科 教授)
パネリスト：中田行彦氏、木村幹雄氏、山野健治氏、新地哲己氏

※本プログラムの内容は予告なく変更になる場合があります。

経済産業省東北経済産業局
資源エネルギー環境部 エネルギー課長

かしわ よし お
柏 芳郎氏

1980年通商産業省(東北通商産業局)入省、花巻市商工課主幹、東北経済産業局情報産業支援室長、コンテンツ産業支援室長、産業技術課長、東日本大震災復興対策本部岩手現地対策本部事務局参事官、復興庁岩手復興局参事官を経て2012年4月から現職。



立命館アジア太平洋大学
アジア太平洋イノベーション・マネジメント・センター長

なか た ゆき ひこ
中田 行彦氏

1971年神戸大学大学院修了。大阪大学博士(工学)。立命館大学博士(技術経営)。シャープアメリカ研究所研究部長、シャープ液晶開発本部技師長、(株)液晶先端技術開発センター主幹研究員を歴任。シャープ在職中に太陽電池、液晶の研究開発に従事。2004年立命館アジア太平洋大学教授、2008年より現職。2009年～2010年スタンフォード大学客員教授。



行田電線株式会社
取締役 PV事業本部統括本部長

き わら みき お
木村 幹雄氏

1975年関西大法卒、松下電器貿易(現パナソニック)入社。1989年ロンドン駐在、EU域内マーケティング活動、特に、オゾン層保護商品販売に傾注。1994年帰国後、北米・中国市場担当。1998年欧州再赴任し、英国・ドイツにて現地販売会社経営に携わる。2003年帰国、監査役員等務め、2010年より現職。



株式会社デンケン
常務取締役

やま の けん じ
山野 健治氏

1987年入社。新規事業である光造形事業の開発責任者として東京大学との共同研究を始め産学官連携により業務を推進し、日本全国、台湾、韓国などで光造形の普及にも尽力。システムソリューション事業部長在職中は半導体を主とした量産工場向けの各種試験装置等の開発・製造に従事。2009年より現職。2007年に太陽電池の検査機ビジネス、2012年にはメガソーラー事業に参入し、再生可能エネルギーの普及に貢献。



芝浦グループホールディングス株式会社
代表取締役会長兼CEO

しん ち てつ み
新地 哲己氏

1971年家電販売会社に入社、1977年に独立、家電販売業「シンチデンキ」を起業。現在5つの子会社を傘下に持つ。2012年7月の全量買取制度の施行に合わせ、メガソーラー事業(大規模太陽光発電所)を始動、中小企業として日本で初めてメガソーラー発電所を嘉麻市に建設し、九州ソーラーファームとしてさらなる展開を行っている。



FAXお申込み用紙

申込み先：地域イノベーション研究センター **FAX 022-217-6266**

フリガナ 参加者氏名	所属機関・役職
FAX番号	電話番号またはe-mail
住所 〒	

※メールでもお申込みいただけます。 sympo2012@econ.tohoku.ac.jp

お申込み締切日 **2月4日(月)**

主催：東北大学大学院経済学研究科 地域イノベーション研究センター・震災復興研究センター

〒980-8577 仙台市青葉区片平2丁目1-1 エクステンション教育研究棟6階 TEL.022-217-6265 FAX.022-217-6266 HP.<http://www.econ.tohoku.ac.jp/rirc/>